



令和2年度 校長だより

令和2年12月24日(木)

大野の風

No.7

文責 松下 義彦

2学期を終えるにあたって

みなさんこんにちは。

今日で2学期も終わり、明日から冬休みに入ります。そして、あと一週間もすれば2020年が終わり新しい年2021年がやってきます。

今年の一年はみなさんにとってどんな一年間だったでしょうか。今年は新型コロナウイルスの影響で今まで経験してきた学校生活とはまるで違う、一年間でした。3ヶ月近くに及ぶ突然の臨時休校、学校行事はほとんどなくなり、夏休みも異例の短さ。今まで当たり前のように過ごしてきた学校生活や日常生活が大きく変わった1年間でした。校長先生自身、今まで当たり前のように生活できていたことがどれだけ幸せだったのかを改めて思い知りました。みなさんはどうだったでしょうか。

さて、校長先生がよく話す、パナソニックの創業者 松下幸之助さんが次のようなことを言っています。

「人と比較をして劣っているといっても、決して恥ずることではない。

けれども、去年の自分と今年の自分とを比較して、もしも今年が劣っているとしたら、それこそ恥ずべきことである。」

この意味がわかるでしょうか。

人はそれぞれ、もっている能力が違います。得意なものもあれば、苦手なものもあるはず。例えば、勉強は苦手だけどスポーツは得意な人、あるいは勉強は嫌いだけどお菓子作りなら自信がある人など、また、その逆の人もあるでしょう。ですので、人と比較して自分ができているとか、できていないとかを考えても意味がないことであり、人よりできてなくても何も悲観することはありません。でも、自分のことに関しては、日々の生活の中で様々な経験をし、考え、日々成長していかなければなりません。先ほど言った例で言えば、スポーツが得意な人は更に上手になるように、お菓子作りに自信がある人はさらにおいしいお菓子を作れるようになることです。そのために、自分の行動を振り返ってみて、去年の自分より成長が見られない時には「努力が足りなかったんだな」と反省しなければなりません。それが人が成長するということです。それは、大人になってからも同じです。

みなさん、もうすぐ2020年が終わろうとしています。これを機会に今年1年間を振り返ってみて、去年の自分より成長できたかを考えてみてください。

さて、話しは変わりますが、冬休みが終わると、3年生はいよいよ受験という大きな試練が来ます。しかし、厳しい道を我慢すると輝く未来が見えてきます。厳しさを嫌がったり恐れたりしてはいけません。いつも、チャレンジする気持ちを持ってください。

1・2年生は今年の締めくくりをしっかりとりたいと思います。先ほども言いましたが、この一年間がどんな一年間だったのか振り返ってください。「一年の計は元旦にあり」といいます。これは、何事も最初に計画や準備をすることが大切だということです。年の初めに、新しい年の目標をしっかりと考えて欲しいと思います。

みなさんも良い年を迎えてください。新年も元気に会いましょう。

